

1	地図とその利用	学習日 月 日	名前
---	---------	------------	----

教科書 P8 ～ 要点ノート P4 ～

1 地理的視野の拡大

(1) 地理的知識と地図

古代 地球(1)説 → 地球(2)説

古代ギリシアでは

- (3)が地球は(2)であることを実証
- (4)が地球の大きさを測定
- (5)が経緯線を用いた世界図を作成

中世 (6)… 古代ギリシアの知識が継承される、地球(2)説

(7)… 地球(1)説 → (8)の作成

※ 中世末期の十字軍やマルコニポーロの『世界の記述』により、ヨーロッパ人のアジアへの興味関心が増大

近世 ヨーロッパでは大航海時代

- (9)… アメリカ大陸漂着、カリブ海探検
- (10)… インドのカリカットに到着
- (11)… マゼラン海峡発見・太平洋横断

現代

- (12)… 北極点到達
- (13)… 南極点到達

(2) 主な日本地図

古代 仏教の伝来によるインド中心の世界観、日本最古の日本全図 = 『14 』

近世 海外交流が活発、ヨーロッパから地理書や地図が伝来 → 地理的視野の拡大

(15)… 経緯線を用いた初めての日本全図『日本輿地露呈全図』

(16)… 実測による近代的な日本全図『大日本沿海輿地全図』

現在 国土交通省の(17)が中心となって地図を作製

p5 作業は必ずやること！

